

病害虫防除技術情報第1号

令和8年6月22日
三重県病害虫防除所

**オオバナミズキンバイの水田での発生地域が広がっています。
水田への侵入、水田からの流出に注意しましょう。**

1 対象作物：水稲

2 雑草名：オオバナミズキンバイ

3 発生地域：桑名市及び鈴鹿市

4 発生状況及び生態、形態

- (1) 桑名市の水田において、令和4年頃から侵入による被害が見られています。
- (2) 令和8年度に、鈴鹿市内の水田への侵入が確認されました。令和3年に鈴鹿川流域で繁殖が確認されており、排水路から水田に侵入したと推定されます。
- (3) 種子繁殖または茎の断片による栄養繁殖をします。
- (4) 冬季は低温で大半が枯死しますが、地上部だけを除去しても、生き残った茎断片から発根、再生します。
- (5) 増殖速度が非常に速いです。
- (6) 種子は耐寒性が高く、泥土に埋没し越冬することで休眠打破します。
- (7) 花卉は5枚(ヒレタゴボウは4枚)の黄色い花(図1)であり、径は4cmから5cmです。地上茎には粘る毛が密生します。葉の縁には細毛があり、茎に交互につきまします。

5 今後の対策

- (1) 特定外来生物に指定されているため、生きたままの栽培、保管・運搬、譲渡、放出は禁止されています。
- (2) 水田畦畔における刈払い(機械除草)による茎断片は拡散を助長するので、オオバナミズキンバイが発生している場合には、刈払い機による除草は絶対に行わないでください。
- (3) 水田(移植水稲の本田防除)では、水稲及びオオバナミズキンバイの生育に

応じて、多年生雑草又は多年生広葉雑草に登録のある除草剤を使用してください。

- (4) 畦畔では、非選択性茎葉処理型除草剤（グルホシネートPナトリウム塩液剤など）、選択性茎葉処理型除草剤（フロルピラウキシフェンベンジル乳剤など）を使用してください。
- (5) イネ収穫後の水田では、非選択性茎葉処理型除草剤（グルホシネートPナトリウム塩液剤など）を使用してください。
- (6) (3)から(5)の対策は薬剤が水系に流出するような使用は避けてください。
また、用排水に直接使用することもできません。
- (7) 水路で繁茂した場合は、除去が必要です。また、断片が残るとそれから再生し拡散しますので、水路からの除去は取りこぼしがないように、地域で協力して行いましょう。
- (8) 除去したものを仮置きする際は、ビニールシートを敷いた上でアスファルト等のところに置き、根付かないにしましょう。
- (9) 発生しているほ場で作業をした場合、農機具に付着した土を通じて拡散する恐れがあります。発生していないほ場から作業を開始しましょう。また、発生しているほ場での作業後は、他のほ場へ移動する前に農機具（ロータリー等）に付着した土や草をしっかりと落としましょう。



図1 花の拡大図



図2 茎葉部の写真(水中葉)



図3 茎葉部の写真(陸上葉)



図4 水路への侵入の様子



図5 大量発生した時の様子

6 問い合わせ先

- ① 本技術情報に関すること
三重県病害虫防除所 電話：0598-42-6365
- ② 農地（水田や畦畔）での防除に関すること
三重県中央農業改良センター 電話：0598-42-6323
- ③ 農地外での発生に関すること
三重県農林水産部みどり共生推進課 電話：059-224-2578
及び市町農業担当課

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。